

臨床医学各論	呼吸器疾患	キーワード：急性気管支炎
--------	-------	--------------

なし

臨床医学各論	呼吸器疾患	キーワード：肺炎
--------	-------	----------

はき 28-66 呼吸器感染症について正しいのはどれか。

1. 非結核性抗酸菌は人から人へ感染する。
2. 感冒の原因は主に細菌感染である。
3. 肺結核の治療は抗菌薬の単剤治療である。
4. 肺炎治療で菌の耐性化が問題となっている。

はき 26-66 呼吸器感染症について正しいのはどれか。

1. 上気道炎の治療は主に抗菌薬である。
2. 65歳以上の高齢者には肺炎球菌ワクチンが推奨されている。
3. インターフェロン γ 遊離試験は非結核性抗酸菌症で陽性となる。
4. 日本の結核患者数は先進国の中では少ない。

はき 24-67 肺炎について正しいのはどれか。

1. 原因はウイルス感染が多い。
2. 若年者は高齢者と比較して死亡する危険性が高い。
3. 肺炎球菌ワクチンの接種が推奨されている。
4. マイコプラズマ肺炎では湿性咳嗽が多い。

はき 21-63 院内感染と関連が深いのはどれか。

1. メチシリン耐性黄色ブドウ球菌
2. A群溶血連鎖球菌
3. 肺炎球菌
4. 破傷風菌

はき 20-69 特発性肺線維症について誤っている記述はどれか。

1. 60歳代に多い。
2. 細菌性肺炎に含まれる。
3. 重篤な呼吸障害を生じる。
4. 肺胞隔壁に炎症・線維化をきたす。

はき 20-70 マイコプラズマ肺炎で正しい記述はどれか。

1. 老年者に頻度が高い。
2. 潜伏期は2~3日である。
3. 消化器症状はみられない。
4. 乾性咳が多い。

はき 19-80 「78歳の男性。5年前に高血圧を指摘されたが、自覚症状がないため放置していた。早朝、安静時に突然強い胸背部痛が出現し、救急搬送された。その際に胸部エックス線検査で上縦隔の著明な拡大を認め、心電図上有意な変化はみられなかった。」本疾患による合併症はどれか。

1. 気胸
2. 間質性肺炎
3. 大動脈弁狭窄症
4. 心タンポナーデ

はき 18-79 「35歳の男性。発熱、乾性咳嗽および呼吸困難で入院。胸部エックス線写真で両側の中・下肺野にびまん性すりガラス状陰影を認め、喀痰細胞診でニューモシスチス肺炎と診断された。」

この患者で陽性と考えられるのはどれか。

1. ライノウイルス
2. ヒト免疫不全ウイルス
3. 成人T細胞白血病ウイルスI型
4. 単純ヘルペスウイルス

はき 18-80 「35歳の男性。発熱、乾性咳嗽および呼吸困難で入院。胸部エックス線写真で両側の中・下肺野にびまん性すりガラス状陰影を認め、喀痰細胞診でニューモシスチス肺炎と診断された。」

本疾患で減少するのはどれか。

1. 単球
2. 好中球
3. Bリンパ球
4. Tリンパ球

はき 17-72 関節リウマチの関節外症状として適切でないのはどれか。

1. 間質性肺炎
2. 皮下結節
3. 血管炎
4. 陰部潰瘍

はき 16-63 食道癌でみられないのはどれか。

1. 嗝声
2. 嚥下性肺炎
3. 脾腫
4. 吐血

はき 15-71 急性間質性肺炎について正しい記述はどれか。

1. 若年者に多い。
2. 肺コンプライアンスが低下する。
3. 細菌感染が原因である。
4. 予後は比較的良好である。

はき 12-69 小児のピーナッツによる気道異物で誤っているのはどれか。

1. 一瞬の吸気とともに吸い込まれる。
2. 呼吸困難を呈する。
3. 咳嗽が消失したら排出されたと考える。
4. 肺炎を起こしやすい。

はき 12-83 細菌性肺炎で変化しないのはどれか。

1. 赤血球数
2. CRP 値
3. 赤血球沈降速度
4. 白血球数

はき 9-70 マイコプラズマ肺炎で正しい記述はどれか。

1. ウイルス性の疾患である。
2. 水痘様の発疹が出る。
3. 頑固な咳を伴う。
4. 成人に感染しない。

はき 9-71 感染症で誤っている記述はどれか。

1. 単純性疱疹は再発する。
2. 腸炎ビブリオ食中毒の潜伏期は数日間である。
3. カリニ肺炎はエイズに合併する。
4. 伝染性単核症では頸部リンパ節が腫脹する。

はき 4-72 急性肺炎の検査所見で誤っているのはどれか。

1. 赤沈亢進
2. CRP陽性
3. 好中球増多
4. 血小板増多

はき 1-78 肺結核について正しいのはどれか。

1. 肺炎球菌の感染により発症する。
2. 発熱することはない。
3. 胸部エックス線検査は診断に有用である。
4. ステロイドホルモンが治療に有用である。

はき 28-66 呼吸器感染症について正しいのはどれか。

1. 非結核性抗酸菌は人から人へ感染する。
2. 感冒の原因は主に細菌感染である。
3. 肺結核の治療は抗菌薬の単剤治療である。
4. 肺炎治療で菌の耐性化が問題となっている。

はき 25-65 肺抗酸菌症について正しいのはどれか。

1. 結核患者は届け出る必要はない。
2. 咳が4週間以上持続している場合は肺結核を考慮する。
3. 抗結核薬は1剤を投与する。
4. 非結核性抗酸菌症も結核と同様に隔離する必要がある。

はき 22-64 肺結核について正しいのはどれか。

1. 接触感染の頻度が高い。
2. 一次結核症の頻度が高い。
3. クオンティフェロン法は診断に用いられる。
4. 糖尿病合併患者では再発率が低い。

はき 17-71 肺結核を疑う症状で適切でないのはどれか。

1. 胸痛
2. 喀痰
3. 微熱
4. 咳嗽

はき 12-85 肺結核の診断に用いられないのはどれか。

1. BCG
2. 喀痰検査
3. 胸部エックス線検査
4. ツベルクリン反応

はき 1-78 肺結核について正しいのはどれか。

1. 肺炎球菌の感染により発症する。
2. 発熱することはない。
3. 胸部エックス線検査は診断に有用である。
4. ステロイドホルモンが治療に有用である。

はき 24-72 肺気腫について正しいのはどれか。

1. 漏斗胸がみられる。
2. 呼吸音が減弱する。
3. 吸気が延長する。
4. 残気量が減少する。

はき 21-70 肺気腫について正しい記述はどれか。

1. 肺胞の胞隔に線維化をきたす。
2. CO₂ ナルコーシスをきたす。
3. 呼気は短縮する。
4. 肺機能検査で残気量が減少する。

はき 19-69 肺気腫の病変部位でないのはどれか。

1. 気管支
2. 終末細気管支
3. 呼吸細気管支
4. 肺胞

はき 6-79 肺気腫の原因として適切でないのはどれか。

1. 加齢
2. 肺癌
3. 慢性気管支炎
4. 喫煙

はき 4-71 肺気腫について誤っている記述はどれか。

1. ビール樽状胸郭を示す。
2. 一秒率が低下する。
3. 肺野のX線透過性が亢進する。
4. 動脈血酸素分圧が上昇する。

はき 3-69 肺気腫の発症に最も関与する疾患はどれか。

1. 胸膜炎
2. 気胸
3. 肺癌
4. 慢性気管支炎

はき 14-69 慢性気管支炎について正しい記述はどれか。

1. 拘束性呼吸器疾患である。
2. 若年者に多い。
3. 喫煙が発病の原因となる。
4. 乾性の外咳嗽を認める。

はき 13-82 慢性気管支炎について誤っている記述はどれか。

1. 1か月以上持続する気管支炎をいう。
2. 閉塞性呼吸器疾患である。
3. 主な症状は湿性の咳嗽である。
4. 治療として禁煙が重要である。

はき 6-79 肺気腫の原因として適切でないのはどれか。

1. 加 齢
2. 肺 癌
3. 慢性気管支炎
4. 喫 煙

はき 4-73 慢性気管支炎で誤っている記述はどれか。

1. 喫煙により悪化する。
2. 気道抵抗が増加する。
3. 湿性ラ音が聴取される。
4. 高熱を伴う。

はき 3-69 肺気腫の発症に最も関与する疾患はどれか。

1. 胸膜炎
2. 気 胸
3. 肺 癌
4. 慢性気管支炎

はき 25-64 成人の気管支喘息について正しいのはどれか。

1. 患者数は減少傾向にある。
2. 症状は昼間に起こりやすい。
3. 治療は吸入ステロイド薬が中心である。
4. 治癒率は50%である。

はき 22-67 アトピー性皮膚炎について誤っているのはどれか。

1. II型アレルギーである。
2. 季節により症状が変動しやすい。
3. 気管支喘息と合併しやすい。
4. 家系内発症がみられやすい。

はき 17-70 気管支喘息について誤っている記述はどれか。

1. 気道の炎症がみられる。
2. 気道の狭窄を呈する。
3. 発作時は咳嗽・息苦しさがみられる。
4. 肺機能検査では拘束性障害を示す。

はき 15-76 肋間神経ブロック後に突然の咳、胸痛、呼吸困難を生じた。最も考えられるのはどれか。

1. 気胸
2. 気管支喘息発作
3. 急性心筋梗塞
4. 解離性大動脈瘤破裂

はき 7-83 気管支喘息について正しい記述はどれか。

1. 若年者より老人に多い。
2. 低酸素血症をきたしやすい。
3. 人工呼吸は禁忌である。
4. 予後は良好である。

はき 5-82 心身症として適切でない疾患はどれか。

1. 本態性高血圧症
2. 気管支喘息
3. うつ病
4. アトピー性皮膚炎

はき 1-88 アレルギー疾患について誤っているのはどれか。

1. アレルギー鼻炎では発作性のくしゃみや鼻閉がある。
2. アトピー性皮膚炎は内因性のアレルギー機序で発症する。
3. じんま疹はしばしば気管支喘息を合併する。
4. 食事性アレルギーはレアギン型アレルギー反応で起こる。

臨床医学各論	呼吸器疾患	キーワード：特発性肺線維症
--------	-------	---------------

はき 20-69 特発性肺線維症について誤っている記述はどれか。

1. 60歳代に多い。
2. 細菌性肺炎に含まれる。
3. 重篤な呼吸障害を生じる。
4. 肺胞隔壁に炎症・線維化をきたす。

はき 18-69 特発性肺線維症をきたす危険因子でないのはどれか。

1. 喫煙
2. 過食
3. 薬剤
4. 感染

臨床医学各論 呼吸器疾患 キーワード：気胸

はき 23-71 自然気胸について正しいのはどれか。

1. 女性に多い。
2. 肥満者が多い。
3. 胸痛をきたすことが多い。
4. 緊張性気胸となることはない。

はき21-72 気胸について正しい記述はどれか。

1. 突然嘔声が出現する。
2. 肥満は危険因子である。
3. 自然気胸は成人女性に多い。
4. 緊張性気胸は緊急処置が必要となる。

はき21-80 「71歳の女性。1週間前から労作時の胸痛を自覚していたが、安静で症状は軽減したため放置していた。しかし、昨日より安静時でも胸痛が起こるようになり、救急受診した。」

本疾患の合併症としてよくみられるのはどれか。

1. 僧帽弁狭窄症
2. 心室性期外収縮
3. 心房中隔欠損症
4. 気胸

はき 19-80 「78歳の男性。5年前に高血圧を指摘されたが、自覚症状がないため放置していた。早朝、安静時に突然強い胸背部痛が出現し、救急搬送された。その際に胸部エックス線検査で上縦隔の著明な拡大を認めしたが、心電図上有意な変化はみられなかった。」本疾患による合併症はどれか。

1. 気胸
2. 間質性肺炎
3. 大動脈弁狭窄症
4. 心タンポナーデ

はき 16-65 原発性自然気胸について誤っているのはどれか。

1. 若年者に多い。
2. 肥満者に多い。
3. 喫煙者に多い。
4. 再発率が高い。

はき 15-76 肋間神経ブロック後に突然の咳、胸痛、呼吸困難を生じた。最も考えられるのはどれか。

1. 気胸
2. 気管支喘息発作
3. 急性心筋梗塞
4. 解離性大動脈瘤破裂

はき 9-83 症状とその軽減体位との組合せで誤っているのはどれか。

1. うっ血性心不全 — 起坐位
2. 一側性気胸 — 患側上位の側臥位
3. 一側性胸水 — 健側上位の側臥位
4. 腹痛 — 仰臥位

はき 3-69 肺気腫の発症に最も関与する疾患はどれか。

1. 胸膜炎
2. 気胸
3. 肺癌
4. 慢性気管支炎

はき 1-79 気胸を疑う必要のある症状はどれか。

1. 刺激性の咳
2. 嘔気
3. 呼吸数減少
4. めまい

臨床医学各論	呼吸器疾患	キーワード：肺癌
--------	-------	----------

はき 27-79 「67歳の女性。胸部エックス線写真で右上肺野の末梢側に2cm大の結節影があり、気管支内視鏡検査で肺癌と診断された。」最も可能性が高い組織型はどれか。

1. 腺癌
2. 小細胞癌
3. 大細胞癌
4. 扁平上皮癌

はき 27-80 「67歳の女性。胸部エックス線写真で右上肺野の末梢側に2cm大の結節影があり、気管支内視鏡検査で肺癌と診断された。」遠隔転移を調べる上で必要な検査はどれか。

1. 呼吸機能
2. 冠動脈造影
3. 脳造影MRI
4. 心エコー

はき 26-62 肺癌について正しいのはどれか。

1. 死亡数は女性が多い。
2. 骨転移はまれである。
3. 小細胞癌が最も多い。
4. 受動喫煙は危険因子である。

はき 25-61 肺癌患者にみられる所見と浸潤部位の組合せで正しいのはどれか。

1. 嗄声 ———— 交感神経
2. 顔面浮腫 —— 上大静脈
3. 縮瞳 ———— 反回神経
4. 腰痛 ———— 横隔神経

はき 21-71 肺癌の検査法で適切でないのはどれか。

1. 超音波検査
2. CT 検査
3. MRI 検査
4. PET(ポジトロンCT) 検査

はき 19-70 肺癌の所見と浸潤部位との組合せで誤っているのはどれか。

1. 嗄声 — 反回神経
2. 顔面浮腫 — 上大静脈
3. 縮瞳 — 迷走神経
4. 呼吸困難 — 気管支

はき 16-66 原発性肺癌が頸部交感神経節に浸潤した場合にみられるのはどれか。

1. うっ血乳頭
2. 血痰
3. 眼裂狭小
4. 女性化乳房

はき 11-79 疾患と危険因子との組合せで正しいのはどれか。

1. 肝細胞癌 — ウイルス感染
2. 喉頭癌 — 雑菌感染
3. 大腸癌 — 高繊維食摂取
4. 肺癌 — 飲酒

はき 10-71 肺癌の隣接臓器への浸潤による症状でないのはどれか。

1. 嚥下障害
2. 散瞳
3. 嗄声
4. 頸部静脈怒張

はき 10-83 肺癌の診断に有用でないのはどれか。

1. 喀痰検査
2. 気管支ファイバースコープ
3. 肺 CT 検査
4. スパイログラフィー

はき 6-79 肺気腫の原因として適切でないのはどれか。

1. 加 齢
2. 肺 癌
3. 慢性気管支炎
4. 喫 煙

はき 5-69 肺癌と関係ないのはどれか。

1. ギラン・バレー症候群
2. ホルネル症候群
3. 上大静脈症候群
4. 嘔 声

はき 3-69 肺気腫の発症に最も関与する疾患はどれか。

1. 胸膜炎
2. 気 胸
3. 肺 癌
4. 慢性気管支炎

臨床医学各論	呼吸器疾患	キーワード：気管支拡張症
--------	-------	--------------

なし